

あなたの事業所で、 あなたの街で、 単独で、 あの「ERC研修」を開催しませんか？

一般財団法人消防防災科学センター（以下「センター」）は、資源エネルギー庁事業で開催している緊急時対応指揮研修（以下「ERC研修」）を電力事業者や自治体が単独で開催する研修をはじめました。

【目的】 資源エネルギー庁のERC研修は令和元年度から5年間、原子力施設立地地域を中心に延べ20回開催してきました（詳細は裏面参照）。この研修は、消防が永年にわたって培ってきた「組織統括」と「情報マネジメント」を核としたこれまでに例を見ない研修として高く評価されています。

今年度から、この研修をさらに多くの方に受講していただくために、電力事業者や自治体が単独で開催するERC研修を始めています。

講師紹介

・佐藤 康雄 ・永井 逸朗 ・飯田 稔
・内山 徹 ・関 政彦

【講師プロフィール】

福島第一原発の燃料棒貯蔵プールに充水した東京消防庁のハイパーレスキュー総隊長をはじめ、多くの災害指揮経験を有する消防の元幹部が講師として指導に当たります。

講師全員が（一社）原子力安全推進協会（JANSI）主催の危機管理研修の講師を務めています。



研修スケジュール

研修の特長

日程	研修内容	日程	研修内容	「消防」を題材として組織統括と情報管理を学びます。喧噪状態の中で「脳に汗をかき」「気づき」を得ることで、シビアアクシデントに対応できるリーダーを育成します。
1日目 9:00 }	1. さらなる安全をめざして 2. 災害心理と惨事ストレス 3. 状況把握トレーニング 4. 情報マネジメント 17:20	2日目 9:00 }	1. 特殊災害対応トレーニング 1) 基礎講座 2) 基本訓練 3) 実践訓練 2. 全体の振り返り 17:20	

この研修では、東日本大震災発生時、東京電力（株）福島第一原子力発電所での放水活動を指揮した元東京消防庁警防部長の佐藤康雄講師から当時の現場活動に関する講義のほか、我が国では放映されていない英国BBCの特集番組を特別に視聴することができます。

この研修に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

研修実施 問合せ （一財）消防防災科学センター 研究開発部 危機管理研修 一町田宛
URL : <https://www.isad.or.jp/>
TEL 0422-24-7803
FAX 0422-46-9940
E-mail: kikikanri@isad.or.jp

開催に向けて

開催に当たっては、以下について打合せをさせていただきます。

- 1) ご希望の開催時期をご指定下さい。講師陣と調整します。
- 2) 研修会場（3日間連続(会場設営と予行1日＋研修2日)・主会場(約120㎡程度)と講師控室の2部屋)をご用意いたします。
- 3) 受講者募集と申込受付(定員24名～30名程度)をお願いします。
- 4) センターと研修開催のための委託契約手続きを行います。

契約には、次の事項が含まれます。

講師謝金と出張旅費、センター職員の人件費と出張旅費、研修資機材の輸送費、配布テキストの印刷製本費、アンケート集計作業経費等

- 5) 見積費用(概算)は、研修開催場所を連絡いただくことで積算いたします。

資源エネルギー庁事業ERC研修の実績と予定(令和元年度～令和6年度)

開催年度	開催地	受講者			
		民間企業	行政職員	消防職員	計
令和元年度	青森(2回)	30	0	7	37
	福井(2回)	15	2	23	40
2	青森(2回)	8	1	2	11
	福井(2回)	8	4	13	25
3	青森(2回)	16	3	3	22
	福井(2回)	12	1	18	31
4	静岡(2回)	14	7	19	40
	島根(2回)	10	0	26	36
5	宮城(1回)	10	4	18	32
	茨城(1回)	5	6	21	32
	新潟(1回)	3	4	20	27
	佐賀(1回)	10	4	18	32
6 (予定)	北海道(1回)	—	—	—	24
	茨城(1回)	—	—	—	24
	鹿児島(2回)	—	—	—	48
計	令和5年度 までの集計	141 (38.6%)	36 (9.9%)	188 (51.5%)	365

原子力事業者ERC研修の開催実績

2024年6月 (株)青森原燃テクノロジーセンター様から「2024年度防災訓練基礎講座(ERC研修)」を受注し、青森県六ヶ所村で日本原燃(株)様社員を対象に実施しました。